

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 3月 12日

事業所 支援センター は一とらいふ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である			状況に応じ、ダンボールハウスや牛乳パックの家を活用している。	
	2	職員の配置数は適切である	2			保育士の不足。今後起用予定
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2		駐車場から玄関までのスロープ。室内段差等なし、一部マット使用、テーブルの角にクッション使用	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2		閉所後に清掃。手作りの壁画を作成し毎月季節や行事を展示。	継続していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	2		日々、業務の振り返りを行っている。	継続していく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2		アンケート結果を把握し職員全体で共有	今後も保護者等の意向を把握し、業務改善につなげていきたい
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		ホームページにて公表	継続していく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		2		今後、検討していく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2		県や市の研修に職員が交互で参加し情報を共有	継続していく
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	2		児童発達管理者を中心に、職員全員で会議を行い計画書を作成	継続していく
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2		計画書を日々確認しながら行っている	継続していく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	2		職員が個々で立案し、全職員んで話し合いを行っている	継続していく
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2		児童の意見を踏まえて活動に取り入れている	活動プログラムが固定化していかないよう検討していく
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2		対象児童の状況に応じ作成、変更を行っている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2		朝礼時に、連絡事項等の確認を行う	継続していく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2		業務終了後、1日の振り返りを行い全職員で共有	継続していく
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2		別紙で支援記録簿を作成し記録全職員に情報共有	継続していく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	2		定期的にモニタリングを行い対象児の状況に応じ見直しを判断	継続していく
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	2		児童発達管理者が参加	継続していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2		職員が子育て支援員研修を修了している	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		該当児童なし
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		該当児童なし
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2		保育所等のお迎え時や保育園等の担任が来所し情報共有し連携を図っている	継続していく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2		保育所、児童デイサービスを併用している児童に限る	継続していく
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2		他事業所との合同研修を行っている	今年度はコロナウイルス感染防止の為、行っていない。 今後も継続していく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	保育所と児童デイを併用することで障害のない子どもの活動する機会を作る	今後も継続していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		2		今後 検討していく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	2		連絡帳や送迎時に報告。必要時、電話連絡・個別面談を行っている	継続していく
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2		保護者からの相談があればその都度対応	継続していく	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2		契約時にわかりやすく説明。必要時にその都度説明を行う	継続していく
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	2		モニタリング時や送迎時に話を聞いたうえで計画書を作成。保護者への説明を行ったうえで同意を得ている	継続していく

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2		その都度相談があれば行っている	継続していく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2		コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の保護者会の開催を行っていない。今後状況をみながら検討
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	2		苦情ボックスを設置している。相談や要望があった場合、その都度対応していく	継続していく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2		毎月、月間は一とらいふを発行し、活動等を配信	継続していく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	2		起用契約時に説明し、契約を行う	継続していく
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	2		連絡帳や送迎時に報告	継続していく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		2	イベントに合わせて近所の方々と交流	コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の開催を行っていない。今後状況をみながら検討
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2		マニュアル本を活用し、全職員に周知している。	継続していく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	2		年2回実施。今年度は、8月(独自)。11月(市の防災訓練時)	継続していく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	—	—	事前に確認を行う	該当児童なし
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—	事前に確認を行う	該当児童なし
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2		事業所内ヒヤリハット集を作成。常時見れるようにしている	継続していく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2		県や市等の研修に職員が交互に参加	継続していく
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	—	—		該当児童なし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。